

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年二月度 入選句（投稿総数千八百四十六句・小中学投句数千二百九十一句）

特選

選者 西田 拓郎

ろてんぶろ雪を入れたらすぐとけた 大垣市

野田 康成(小三)

とても温かい露天風呂と、とても冷たい雪との取り合わせが生きています。家族旅行で温泉に行ったのでしょうか。冬の露天風呂ならではの体験をしましたね。お湯の中に雪を入れるとすぐに溶けることは分かっているのですが、それでも目の前に真つ白な雪があると入れたくなるのは大人でも同じです。素直な飾らない表現が露天風呂の温かさともわりの雪景色を豊かに想像させます。雪は溶けて水になります。水は温まって温泉になります。もともと同じ仲間だから、すぐ溶けるのかもしれないですね。

やきいものふくをぬいだらまつきいろ 大垣市 小倉 万依(小五)

熱々の石焼きいもがある。下半分だけ新聞紙でくるんで手に持つ。まだ土の色が黒々と残っている皮を、先っぽからへろりと皮をむく。湯気を上げつつ鮮やかな黄色が見えてきた。甘い。ホクホクだ。

そんな様子が伺えます。焼きいもの「まつきいろ」はおいしさの秘密なのかもしれませんね。

足元に力が入るこま回し 大垣市 木村 ひな胡(小五)

こま回しは最初はなかなかうまくいきませんが、何度か挑戦するうちによく回るようになります。いろいろなコツをつかんでいくからです。でも、足元にしっかりと力を入れていくことは気づきませんでした。なるほどそのとおりです。こま回しに限らず、どんなことでも足元をしっかりと固めることが大切です。

足元に注目することによって、まさに今からこまを投げようとする緊張感が伝わってきます。

秀逸

ゆきだるまひとばんねたらちぢんでた 大垣市 さが山 ゆう(小二)

あいさつはすればするほどあつたまる 大垣市 村お りようや(小三)

ゆきだるまふたつならんでなかよしだ 大垣市 古賀 太智(小四)

ひしもちの一番上はピンク色 大垣市 加地 百合花(小五)

お手だまがシャカシャカなって春が来る 大垣市 榎並 美月(小四)

ゆきたちがバランスとるよえだのうえ 大垣市 関谷 泉吹(小二)

ゆきだるまたくさん兄弟作ろうよ 大垣市 田中 あおい(小三)

シクラメン光のほうへ顔向ける 大垣市 那須 大次郎(小四)

入選

おじいちゃんいつもはくさいありがとう 大垣市 おがわ し(小二)
 左ぎ長でズボンに小さなあなあいた 大垣市 齋藤 光起(小二)
 おちばまうくるくるダンスたのしそう 大垣市 稗田 伊生(小二)
 ゆきだるまいちにちだけのおともだち 大垣市 稗田 伊生(小二)
 ゆきげしきけーきのうえにいるみたい 大垣市 よこまく はると(小三)
 ハムスター寒い中でもねむってる 大垣市 松藤 羽南(小三)
 はつもうでみんなのねがいがいっぱいだ 大垣市 大石 莉歌子(小五)
 ひな人形こしをいためるおばあちゃん 大垣市 桐山 健伸(小五)
 ひな人形わたしもとなりでほほえんだ 大垣市 嵯峨山 日菜(小五)
 ひなあられひな人形のおとなり 大垣市 小林 梨夏(小五)

入選

きものきてひな人ぎようとしゃ真とる 大垣市 城田 桃花(小五)
 きものきてひな人形が見ているよ 大垣市 片岡 奈々美(小五)
 おひなさま今年高い場所にいる 大垣市 辻 美帆(小五)
 ひな人形用意と片付け大変だ 大垣市 大塚 詩子(小五)
 ひな人形みんなにこにこ楽しそう 大垣市 大塚 詩子(小五)
 ゆきだるまゆきがないからどろだらけ 大垣市 谷 はぐみ(小二)
 たからぶね楽しみのせてしゅっぱっだ 大垣市 栗原 圭吾(小三)
 おひなさま三人かんじよがすてきだな 大垣市 田中 美羽(小三)
 なべのゆげ私の体包んでる 大垣市 金森 早紀(小四)

選者吟

白魚の命の限りすきとほる

西田 拓郎